

文章が苦手な人でも情報発信ができる ネタの探し方

★テクニックの前に必要なマインドセット

書き方（やり方、方法）を学ぶ前に、覚えておくべき大切な考え方があります。まず最初にそのことについてお話しします。

①自分が書く文章には価値があると信じる

あなたの知識や体験は必ず他の誰かの役に立ちます。
もし、だれかに価値がないと言われても気にしてはいけません。

勘違いしている人が多いですが、凄い人の凄い情報だけに価値があるわけではありません。

そんな情報って、
「あなただからできるでしょ」
という内容のことも多いからです。

普通の人々の普通の体験も大切な情報です。
それは、多くの人にとって当てはまる再現性が高い情報である可能性が高いからです。

Amazonで買い物をするときユーザーの評価を確認するという人は多いです。食べログやRettyのようなグルメサイトが生活に浸透しているのも、Twitterが流行しているのも同じ理由だと思います。

情報発信すること自体に価値があるんです。

初心者には初心者ならではの体験があります。書いて表現すること自体の価値はどんな立場のどんな人でもあります。

あなたの伝えたいことをきちんと文章に起こすことができれば必ず誰かの役に立つ、「自分が書く文章には価値がある」と確信することが、まず最初に大切なこととなります。

②中学生でもわかる内容にすることを心がける

人に説明するときイメージすると良いのは、**中学生にでもわかるくらいの説明にする**ということです。

それを意識すれば、あまり難しい感じや言い回しを使わないとか、専門用語をどう説明するか、どのように例えるか、ということがイメージしやすくなると思います。

大人の方が読みやすい文章ということを考えるときに、中学生でもわかる文章ということを意識すると良いですよ。ということですね。

有効なテクニックとしては、**専門用語でまず話をしてからその内容をわかりやすい言葉で説明する**、という構成にすると専門家っぽく見えるというやり方があります。

最初からわかりやすい文章にするのが難しいと感じたら、まず自分が普段使っている言葉で書いてみて、それをわかりやすい文章に「翻訳」というやり方にするのも1つの方法です。

★文章を書くスピードを上げる方法

ここから、文章を書く具体的なやり方についてお話しします。
本と重複する内容もあるかもしれませんが、大切な内容なのでおさらいだと思って確認してみてください。

文章に苦手意識がある人は、才能が無いのではなくてやり方を知らないだけです。

原稿用紙に書くのと違って、パソコン（ワープロソフト）で書く場合はその特徴を生かした文章の書き方があります。

これを知ってから書くのと知らないで書くのとでは、文章が出来上がるスピードが全く違います。

①目次を作る

まず一番最初に、目次を作ります。

中学生でもわかるように伝えるにはどのように伝えればよいだろうか？
と考えたうえで、目次を作ります。

一番最初に目次を作ることで書くべき内容がはっきりするので、文章を書くスピードが格段に上がります。

例えば、「PDF文書の作り方」という記事を書く場合、このテーマについて中学生に伝えるにはどうすればいいかという風にまず考えます。

そのうえで目次を作ってみると、

- ・PDFってなに？
- ・必要なソフトウェアをインストールしよう
- ・ワープロソフトで作った文書をPDFにしてみよう

みたいな感じの目次ができます。

細かいことは後で考えればよいとして、まずはこのように簡単に目次を作ってみましょう。

文章を実際に書いている最中に目次を変えたくなくなったり付け加えたくなくなったら、その時に変えてしまえばOKです。

②とにかく書く(人に見せられないくらい適当に！)

人に見せられないくらいに適当に書いてみるということがポイントです。人に話をするイメージで、実際に喋りながら書いてみるというのも良い方法です。

間違っても文章を最初（文頭）から書こうとしてはいけません。

子供の頃に原稿用紙に文章を書く指導を受けている人が多いので、文章を最初からきちんとした構成で書かなくてはいけないという先入観がある人が多いですが、そんな必要はありません。

プロのライターでも、必ず**文の途中の自分が一番書きやすい部分、書きたい部分から書く**という人もいます。

書く文章が含んでおくべき内容を全て書き出すイメージで、とにかく適当な構成で書いてみるということが最大のポイントです。

言いたいことを構成するための部品をそろえることが最も大切なことです。

③文章を構成する

②で適当な構成で書いた文章を人に読める形に並び替えたり、「てにをは」をそろえたりするのがこの段階です。

この作業を進めていくうちに、書き足りない内容、書き足したい内容が出てきたら、その都度加えていきます。

必要であれば、目次も書き直します。

④時間を空けてから文章を読み直す→修正する

時間を空けてから読み直すことで、文章のつながりが悪いところに気づきやすくなります。

文章に問題があればここで修正すればOKなので、①～③の行程を雑でもよいからとにかく早くするということが大切なポイントです。

以上の手順で文章を書けば早く書くことができます。

このやり方の最大の特長は、「文章を書き始めるハードルが低くなる」という点です。

原稿用紙に文章を書くように、最初から最後まで構成しながら文章を書こうとすると、一番最初に何を書くべきかということを考えるのにものすごく時間がかかってしまいます。

構成を考えないでとにかく書きたいことをどんどん書いてしまえば、文章を構成する「部品」がワープロ上にできてしまうので、後はそれを完成品に組み立てるだけです。

箇条書きからスタートする、という形でもOKなので、とにかく手を動かして字を書く、自分の頭の中にあるもの文字にしていく、というスピードを速めることができれば、どんなに文章が苦手な人でも、必ず書けるようになります。

是非試してみてください。

★情報発信のネタのヒント

①なぜ自分がその仕事を始めたかというきっかけを考えてみる

あなたがなぜその仕事をしているのか、なぜその仕事を始めたのかということについては、あなたについてよく知らない人にとっては全くわからないことです。

折に触れて、このような内容を発信することは、あなたがどのような思いで現在の仕事に取り組んでいるかということを知ってもらう良い機会になります。

また、あえて文章にすることで自分が自分のビジネスとの関わりを見直すきっかけにもなります。

長く続けていれば、自分と仕事との関わり方も変化していくのが普通です。

お客様とのかかわりにおいて、新たな仕事の意味を見つけることも多いと思います。

そのような更新した内容も発信していくと良いと思います。。

②日々行っている仕事のルーティンを考えてみる

仕事のルーティン、あるいは生活習慣でもOKですが、自分が日常生活でこだわって行なっていることを発信するのはとても良いです。

畑違いの仕事であれば特に、他人の仕事の内容というのは知っているようで知らないものです。

自分がいつも行っていること、気をつけていること、新しく取り入れたこと、それを試してみた結果どうだったか、などということをぜひ発信してみたいと思います。

③ニュースや時事問題を題材に自分の意見を書く

日々テレビのニュースなどで、自分の仕事に関連するニュースや、自分の興味を惹かれるニュースが報道されることがあると思います。

既存の情報＋あなたの見解

これは立派な情報発信になります。

そのようなニュースを題材に自分の意見を述べてみる、というのもよく行われている方法です。

テレビの他にも、インターネットのニュースサイトやニュースアプリを利用してみるのも良い方法だと思います。

おすすめのをいくつか挙げてみたいと思います

●NEWS

NHKオンライン

東洋経済オンライン

ヤフーニュース

●ニュースアプリ

グノシー

スマートニュース

News Suite

SNSなどで出回っている話題は、出所が不明で不確かな情報であることも多いので、ニュースを参照にする場合は誰がどのように調べて書いた情報かを確認できるものを取り上げた方が良いでしょう。

読んだ本や講座、セミナーなどで勉強した内容などでももちろんOKです。

既存の情報にあなたの見解を加えて発信することということを意識する事が大切なことです。

★ネタを思いついたら必ずメモを取る

ネタを探すということにおいて、最も大切なことは実はこれです。
どこから情報を得るか、ということもさることながら、これを伝えたいという内容が見つかった場合は、必ずメモを取ることをお勧めします。

メモを取らないと、かなり高い確率で忘れます。

というか、ほとんど忘れます。

忘れたことも忘れます(笑)

メモ帳とペンを持ち歩く、ということの他にもスマホのメモ帳機能を利用したり、Evernoteなどのアプリを利用することで手軽にメモを取ることができますので、ぜひメモをとる習慣をつけてください。

一番のネタは仕入れたニュースそのものよりも、それに気づきを得てあなたが人に伝えたいと思った内容です。

それが一番大切な情報発信のネタです。

あなたの内面の気づきを増やしていくということが大切なことです。

メモを取る習慣をつけることで、日常生活全てが情報発信のネタになることに気づくことができると思います。

人に伝えたいことを思いついたら、ぜひメモを取るようになさってください。

メモを取ることを続けていけば、何かを書くときにネタに困ることは無くなっていきます。

著者：中井雅之

ブログ：<https://odmt-pcc-b.jp/>

メールアドレス：mail@odmt-pcc-b.jp

お問い合わせはこちらのアドレスまでお願いします。

【著作権について】 このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

このレポートの著作権は発行者（中井雅之）に属します。

著作権者の許可なく、このテキストの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。